

取扱説明書

※お買い上げいただきありがとうございます。
 ※ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
 ※お読みになった後は、大切に保管してください。

※本製品は体積エネルギー密度が 400 Wh/L 未満のため、PSE マーク表示対象外です。

安全上のご注意

必ずお守りください

※ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は製品を安全に正しくお使いいただき、使用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。



警告 下記内容を無視して誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示しています。

- 万が一異音・発熱・異臭・その他異常がある時はご使用をおやめください。異常がある状態のままご使用になった場合、発火・爆発の原因になるおそれがあります。
- 本体充電用ケーブルを無理に曲げたり、上に物を乗せたりしないでください。コードが破損して感電・発熱・発火のおそれがあります。
- 本製品および付属品について、分解・改造は絶対に行わないでください。感電・発熱・発火のおそれがあります。本製品の誤った使用方法、分解、改造をしてのご使用等による事故・故障・破損等につきまして当社は一切その責任を負いかねます。
- 濡れた手で本体または端子部分、コネクタ部分に触らないでください。感電やショートの原因になります。
- 本製品のジャンプスタートケーブル接続口や USB 出力ポートなどを指や金属のピンで触れたり、ゴミ・ほこり・異物等を付着・接触させないでください。感電やショートの原因となります。
- 本製品は防滴・防水加工していませんので濡らさないでください。万が一濡れた場合はただちに使用をやめてください。
- 本製品は家庭用機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、高い信頼性を要求されるシステムには使用しないでください。
- 本製品および周辺で、エアダスターやダストスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となります。
- 引火や爆発のおそれがある場所や引火性ガスの発生するような場所での使用や保管はしないでください。
- 本製品を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や、高圧容器に入れないでください。
- 走行中に本製品の操作を行わないでください。
- 不測の事態を避けるためにも、本製品使用中は、本製品や車両から離れないでください。
- 本製品使用の前に車両のサイドブレーキを引く / ギアをパーキングまたはニュートラルに入れる等、誤って車両が動き出さないよう安全を確保してください。
- 本製品をご使用の際は、ファンベルト等にケーブルが巻き込まれないように、十分注意をしてください。
- 車載バッテリーが極度に劣化または過放電している場合は、ジャンプスタートをしないでください。
- 本製品を車載バッテリーの代用として使用しないでください。
- 製品本体とジャンプスタートケーブル、付属品等を接続したまま保管しないでください。

下記内容は、「リチウムイオン充電電池の取り扱い」を示しています。

本製品はリチウムイオン充電電池を内蔵しています。充電電池は、有機溶媒などの可燃物を使用していますので、取り扱いを誤りますと破裂・発火・発煙のおそれがあります。また、性能低下、故障の原因となります。下記の注意事項を必ずお守りください。

- 本製品の充電電池の交換はできません。お客様ご自身による交換は危険ですから絶対におやめください。
- 炎天下や火気のそばでのご使用はしないでください。
- 振動や衝撃を与えたり、投げつけたり落としたりしないでください。
- 充電の際に、目安となる充電時間を超えても充電が完了しない場合には、充電をやめてください。充電電池の液漏れ、発熱、発煙、破裂など、発火の原因になるおそれがあります。
- 充電電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは、ただちに使用をやめて火気から遠ざけてください。液漏れした液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
- 充電電池の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につかないでください。失明や皮膚に障害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また目や口に入った場合、皮膚に付着した場合は、洗浄後ただちに医師の診断を受けてください。
- ご使用中や充電の際に本製品が膨らんだり、すぐに熱くなる場合は中止してください。
- リチウムイオン電池は一般ごみで処分することはできません。処分の際は、市区町村の区分にしたがってください。または、分解等せずリサイクル協力店へお持ちいただき、リサイクル回収を行ってください。

**注意**

下記については、「人が障害を負う可能性がある場合や物質的損害の発生が想定される内容」を示しています。

下記は、「行ってはいけない内容」を示しています。

- 本製品のジャンプスターター機能は、DC12V鉛バッテリー搭載の自動車およびバイク用の機器を対象として設計されています。他のバッテリーや、この取扱説明書に記載されていない目的以外でのご使用は行わないでください。
- 24V車（トラック等）にはご使用になれません。火災や故障の原因になりますので絶対におやめください。
- 本製品をポケットやバッグの中に入れてそのまま使用・保管しないでください。
- 直射日光の当たる場所や、ストーブ、ヒーターなどの発熱機器のそば、炎天下の車内など温度の高いところで使用、保管、放置しないでください。変形、故障の原因となったり、内部の温度が高くなり、火災の原因となる場合があります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房器具のそばなど）や氷点下になる車内などで保管、放置しないでください。本製品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 調理台のそばなど、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- 車中のトランクなど振動・衝撃の多い場所には保管しないでください。やむをえず保管する場合は、付属のソフトケースに収納し、クッションなどで振動・衝撃を与えないようにしてください。
- 本製品を落下しやすい場所で使用したり、上に物を乗せたり布等をかぶせた状態で使用しないでください。落下や破損などによりけが・感電・発熱・発火のおそれがあります。
- LEDの光を直接見ないでください。
- 本製品を充電しながらジャンプスターター・電動コンプレッサーとして使用しないでください。

下記は、「必ず実行していただく内容」を示しています。

- 本製品を使用する際は、貴金属類（指輪・ネックレス・時計など）は外してください。
- 本製品のジャンプスターターケーブルを車両バッテリーに接続の際は、必ず車両バッテリーのプラス（+）とマイナス（-）を確かめて、車両バッテリー端子へジャンプスターターケーブルのプラス端子クリップ（赤）から先に取り付け、次にマイナス端子クリップ（黒）を確実に接続してください。
- 1回の始動で3秒以上セルモーターを回さないでください。
- ジャンプスタートは、1回以上行わないでください。本製品の故障の原因となります。
- セルスターターを回してもエンジンがかからない場合、車載バッテリー等の不具合、または製品本体に不具合のある可能性がありますので使用を中止してください。
- 本製品は自然放電などによりご使用いただけない場合があります。デジタルディスプレイでバッテリー残量をご確認いただき、ご使用前に改めて満充電にしてからご使用ください。
- USBケーブルやジャンプスターターケーブルは引っ張らずに、かならずUSB-C端子部分や本体接続用コネクター部分を持って、製品本体からの抜き挿しを行ってください。
- 機器によっては充電中に、充電開始と終了を繰り返す場合があります。その場合は充電を続けても効果があからないため、本製品を機器からはまずして充電を中止してください。
- コネクター部に大きな力がかかると接触不良を起こしたり、端子が破損するおそれがありますので、コネクター（USB-A/USB-C）はまっすぐに抜き挿ししてください。
- 本製品を充電する場合、結束バンド等を必ず外し、コードをのびた状態で充電してください。
- 使用環境温度が-10℃から40℃の範囲でご使用ください。
- 保管時は直射日光を避け、40℃以下の場所で保管を行ってください。
- お客様の手の届かない場所での使用・保管を行ってください。
- 使用されない場合も、定期的（1～3ヶ月毎）に充電を行ってください。

下記は、「使用上の注意」を示しています。

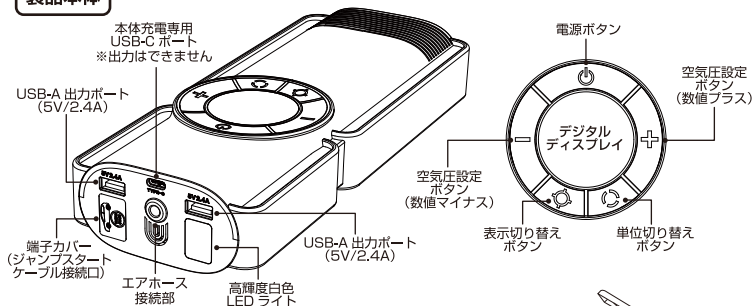
- 車種や使用状況によってはジャンプスタートができない場合があります。
- クランキング電流（※）の大きな車両、単気筒エンジン/2気筒エンジン/ロングストロークエンジン/高圧縮エンジン、ターボチャージャー装着車、スーパーチャージャー装着車、4輪駆動車、寒冷地仕様車等や、大容量バッテリーを使用している大型車両等、車両バッテリーのコンディションなどにより、製品仕様と記載した条件を満たした車両でもジャンプスタートができない場合があります。（※クランキング電流：エンジンを始動させるセルモーターを動かす為に必要な電流値）
- スマートフォンや電子機器、USB機器によっては充電や電源供給できない場合もあります。
- Bluetoothイヤホン等の消費電流の小さい機器には充電や電源供給ができない場合があります。
- 機器のバックライト照明を点灯した状態で充電したり、アプリケーションを起動した状態で充電した場合、充電時間が長くなったり充電完了しない場合があります。その場合、バックライトはOFFにし、アプリケーションは終了させてから充電してください。

[USB-A出力ポート（5V/2.4A）について]

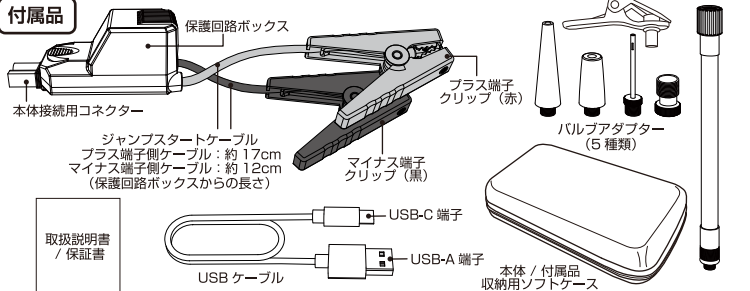
- 機器によっては本製品で充電しながら音楽再生できない場合があります。
- 機器の充電中に長時間の通話やアプリケーションの使用等を行うと電池パックの劣化や寿命を早める原因になります。また熱くなった機器に長時間触れると肌が赤くなったり、かぶれ等を引き起こす場合がありますのでご注意ください。
- 機器によっては、充電異常警告のマーク「！」やメッセージが出る場合があります。その場合は本製品を機器から外して充電を中止してください。機器が操作に応答しない場合は、機器のバッテリーパックを一度外して付け直す等警告が消え、元の状態に戻ります。
- 充電時間は機器や充電の状況によって異なります。
- 本製品をご使用中にバナー、携帯電話・オーディオプレーヤー本体等の機器の故障やメモリ内容やデータ等の消去、またはバッテリーパックの破損、車両の不具合等が発生した場合、当社では一切その責任・保証等は負いかねますのであらかじめご了承ください。メモリ内容やデータ等は必ずバックアップを取ってからご使用ください。

各部の名称

製品本体



付属品



※本体充電用 USB 電源は付属していません。別途、出力 DC5V/2A 以上の USB 電源をお買い上げください。

製品の特長

- DC12V 鉛バッテリー搭載の自動車やバイクの、バッテリー上がりの際のエンジン始動を補助するジャンプスタート機能を内蔵しています。
- 4セル構造の8000mAh リチウムバッテリーを内蔵しています。
- 保護回路ボックス付きジャンプスタートケーブルを付属しています。
- リチウムイオン電池で動作する小型の空気充填用コンプレッサーを内蔵しています。
- 米式バルブ用エアホースを接続して自動車やバイクのタイヤへ空気の充填が可能です。
- バッテリー残量や空気圧数値が見やすいデジタルディスプレイ採用。暗い場所でも見やすい白色文字発光。
- お好みの充填空気圧を設定し、充填完了後は設定した空気圧で自動停止します。(AUTO ストップ機能)
- 空気圧の表示・設定はボタン操作で BAR / KPA の切り替えが可能です。
- 付属のバルブアダプターを使用して自転車や、ボール・浮き輪などの遊具にも空気の充填が可能です。
- USB-A 出力ポート (定格 2.4A 出力) 2 ポート付きで、スマートフォンやモバイル機器の充電が可能なモバイルバッテリーとしてご使用いただけます。※2 ポート合計出力 2.4A
- 暗い場所での作業や緊急時に便利な高輝度白色 LED ライトを内蔵しています。
- USB 電源からの充電が可能な、本体充電用ケーブルを付属しています。
- 製品本体と付属品を収納可能なソフトケースを付属しています。

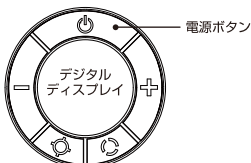
バッテリー残量の確認

1. 電源ボタンを押して、デジタルディスプレイを表示させます。
2. 表示された数値で、バッテリー残量を確認します。
残量が10%を下回っていると数値が点滅します。
3. 電源ボタンを押してから約30秒間操作が無い場合、デジタルディスプレイの表示は自動で消灯します。

デジタルディスプレイの表示状態

100%
満充電の状態

10%
残量が10%を下回ると
数値が点滅します

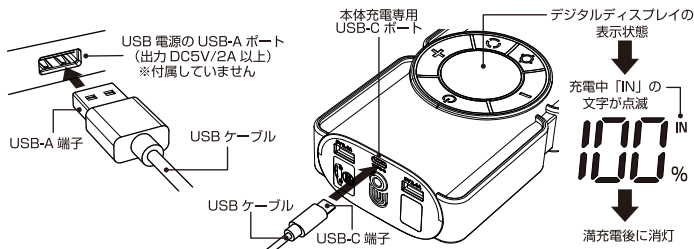


ご注意

- ※ 本製品をお買い上げ後に初めてご使用になる際は、必ず充電を行なってください。

本体を充電する場合

1. 出力DC5V/2A以上のUSB電源をご準備ください。
2. 付属のUSBケーブルのUSB-A端子を、ご準備いただいたUSB電源のUSB-Aポートへ挿し込みます。
- ※ パソコンでの充電はおやめください。
- ※ 充電用ケーブルは束ねた状態で使用しないでください。
3. USBケーブルのUSB-C端子を、本体充電専用USB-Cポートへ接続します。
4. 本体の充電が開始されます。
充電中はデジタルディスプレイの「IN」の文字が点滅します。
5. 満充電になるとデジタルディスプレイが100%を表示後に消灯します。
6. 満充電状態を確認後、USB-C端子を本体充電専用USB-Cポートから取り外します。

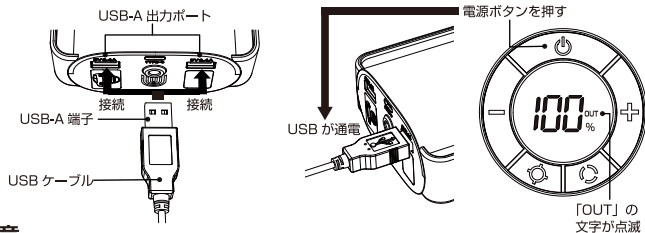


ご注意

- ※ バッテリー残量が無い場合、出力DC5V/2A以上のUSB電源を使用で、満充電までに約6時間かかります。
- ※ パソコンでの充電はおやめください。また必ず出力DC5V/2A以上のUSB電源で充電してください。
- ※ ご使用の状況により満充電までの時間が異なります。
- ※ 充電完了直後は、製品本体が熱くなっている場合がありますのでご注意ください。
- ※ 本体充電専用USB-Cポートは、USB機器の電源として使用できません。
- ※ 内蔵しているバッテリーはリチウムイオン充電電池です。リチウムイオン充電電池の特性上、サイクル寿命があり、充電可能回数は約300回です。
- ※ 内蔵しているリチウムイオン充電電池は交換できません。

USB 機器との接続

1. USB-A 出力ポートに、ご使用になる USB ケーブルの USB-A 端子を接続します。
※ USB ケーブルは束ねた状態で使用しないでください。
2. USB ケーブルと、ご使用になる USB 機器を接続します。
3. 電源ボタンを押すと、デジタルディスプレイが点灯します。「OUT」の文字が点滅し USB 出力ポートへ通電します。
※ バッテリー残量が 10% を下回ると数値も点滅し、0% になると自動で数値が消灯します。
4. ご使用後は USB 出力ポートから USB ケーブルを取り外します。無負荷状態で約 30 秒続くとデジタルディスプレイが消灯し USB 出力ポートからの出力が OFF になります。

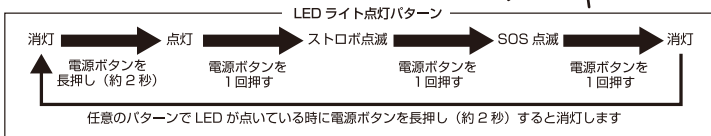
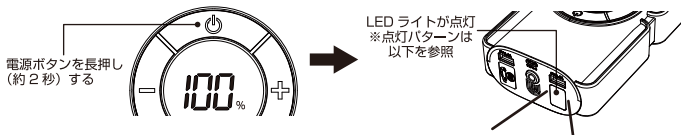


ご注意

- ※ USB 機器を充電する際、製品本体と USB 機器との接続は必ずその機器の純正ケーブルをご使用ください。
- ※ 製品本体の充電中は USB-A 出力ポートの通電は OFF になりますのでご使用できません。
- ※ 製品本体の USB-A 出力ポートは 1 ポート使用時、2 ポート同時使用時ともに合計定格 2.4A です。定格 2.4A 超の USB 機器を接続しないでください。
- ※ 定格 2.4A 超の USB 機器を接続した場合、または 2 ポート合計の出力が 2.4A を超えた場合、製品本体の保護回路が働き USB-A 出力ポートの通電は OFF になります。
- ※ リチウムイオン電池の特性上、定期的に本製品の USB 出力ポートからモバイルバッテリーとしてご使用いただくことを推奨します。最長で約 3 ヶ月を目安として、1 ヶ月に 1 度は満充電を行ってください。
- ※ Bluetooth イヤホン等の消費電流の小さい機器には充電ができない場合があります。
- ※ 本体充電専用 USB-C ポートは、USB 機器の電源として使用できません。

LED ライトを使用する場合

1. 電源ボタンを長押し（約 2 秒）すると、LED ライトが点灯します。
2. LED ライトが点灯した状態で電源ボタンを押すと、以下のように切り替わります。
3. ご使用後は電源ボタンを消灯パターンになるまで押すか、電源ボタンを長押し（約 2 秒）すると、LED ライトが消灯します。



ご注意

- ※ 製品本体の充電中は LED ライトのご使用はできません。

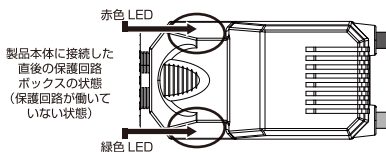
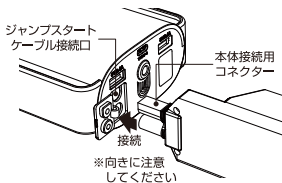
ジャンプスターターとして使用する場合

ご使用前の確認

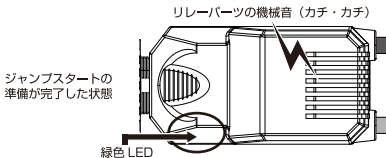
1. 電源ボタンを押してデジタルディスプレイの表示を確認し、残量表示が 100% になっていることを確認してください。
※ 100% 以下を表示している場合はジャンプスターターとしてはご使用にならずに、本体の充電を行ってください。
2. 車載バッテリーの端子部分が錆びていたり汚れている場合は、錆びや汚れを落としてから、ジャンプスターターをご使用ください。
3. あらかじめ車両の電源や、ヘッドライト・エアコンなどの電装品が OFF になっていることを確認してください。
4. 車載バッテリーの端子部分がカバーで覆われている場合、あらかじめカバーを取り外してください。

ご使用方法

1. 製品本体の端子カバーを開けます。
※ 無理にひっぱるとちぎれる場合がありますのでご注意ください。
2. ジャンプスタートケーブルの本体接続用コネクターを、製品本体のジャンプスタートケーブル接続口へ接続します。
3. 保護回路ボックスの LED の状態が、緑色 / 赤色に交互点滅していることを確認します。
4. ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ（赤色）を車載バッテリープラス端子（+）に接続します。
5. ジャンプスタートケーブルのマイナス端子クリップ（黒色）を車載バッテリーマイナス端子（-）に接続します。
6. 保護回路ボックスの LED が緑色の点灯になったこと（ジャンプスタート準備完了）を確認してください。
7. 保護回路ボックスの LED が緑色に点灯後、定期的に「カチ・カチ」というリレーパーツの機械音がしますが故障ではありません。
7. 保護回路ボックスの LED が緑色の点灯になってから 30 秒以内に、セルスターターを回してエンジンを始動させます。
※ 接続後、約 30 秒間エンジンの始動を行わずに無負荷状態が続くとオートパワーオフ機能が働き、出力電流を自動的にストップし保護回路ボックスの LED が赤色に点灯します。
8. エンジンを始動した後、ジャンプスタートケーブルのマイナス端子クリップ（黒色）を車載バッテリーマイナス端子（-）から外します。
9. ジャンプスタートケーブルのプラス端子クリップ（赤色）を車載バッテリープラス端子（+）から外します。
10. 製品本体のジャンプスタートケーブル接続口から、ジャンプスタートケーブルの本体接続用コネクターを外します。
11. 製品本体の端子カバーを閉めます。

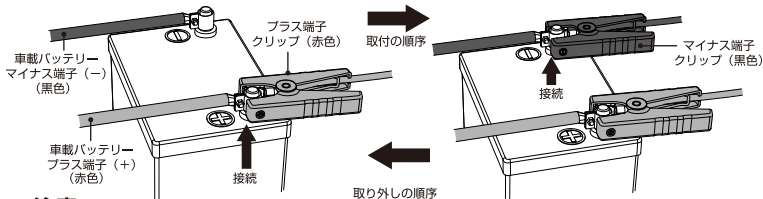


LED が緑色と赤色に交互点滅します。



LED が緑色に点灯します。

※接続後、約 30 秒でオートパワーオフ機能が働き出力をストップします。

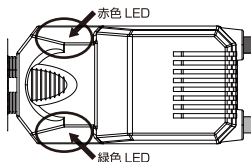


ご注意

- ※ ジャンプスターターとしてご使用の場合、必ずデジタルディスプレイの表示を確認し残量表示が 100% になっていることを確認してください。100% 以下を表示している場合はジャンプスターターとしてはご使用にならずに、本体の充電を行ってください。
- ※ ジャンプスタートを行う際は、必ず 2 名以上で行ってください。
- ※ エンジンを始動する前に安全が確保されているか確認してください。
- ※ 製品本体の 12V 端子カバーは、必ず閉めた状態で保管してください。開けた状態で放置・保管しますと、ジャンプスタート接続口にゴミや異物が接触し、製品本体がショートするおそれがあります。

保護回路について

ジャンプスタートケーブルには、不測の事態に備えて保護回路ボックスを搭載しています。作動している保護回路の状態は、保護回路ボックスのLED点灯とブザー音によって確認が可能です。保護回路の動作詳細については以下をご確認ください。



保護回路ボックスの動作詳細

保護の状態	ブザー音	保護回路ボックスのLED発光状態	保護回路作動条件	保護回路の解除方法
製品本体に接続した直後	無し	LEDが赤色 / 緑色交互に点滅	製品本体と保護回路ケーブルを接続した直後の状態です。	
ジャンプスタート準備完了	無し	LEDが緑色に点灯	車載バッテリーに端子クリップを接続してジャンプスタートが可能になった状態です。	
オートパワーオフ	無し	LEDが赤色に点灯	車載バッテリーへ端子クリップを接続し、保護回路ボックスの緑LEDが点灯してから約30秒間無負荷状態が続くと、出力電流を自動的にストップします。 ※オートパワーオフ作動時はジャンプスタートは行えません。	車載バッテリーから端子クリップを外し、保護回路ケーブルを本体から外すことで解除されます。
			ジャンプスタート直後に出力電流を自動的にストップします。	
過放電保護	無し	LEDが赤色に点灯	製品本体の電圧が著しく低いため、ジャンプスタートが行えない場合に作動します。	製品本体を満充電してから、再度接続を行うことで解除されます。
逆接続保護	あり (ピピピピ)	LEDが赤色に点灯	端子クリップ接続の際、車載バッテリーのプラス端子とマイナス端子を逆に接続した際に作動し、出力をストップします。	車載バッテリーから端子クリップを外すことで解除されます。
ショート保護	あり (ピー——)	LEDが赤色に点灯	端子クリップ同士が接触(ショート)した際に作動し、出力をストップします。	端子クリップを離すことで解除されます。
過熱保護	無し	LEDが赤色に点灯	保護回路ケーブルの温度が一定温度以上に発熱した場合に作動し、出力をストップします。	車載バッテリーから端子クリップを外し、保護回路ケーブルを本体から外したあと、ケーブルが冷却され、再接続することで解除されます。

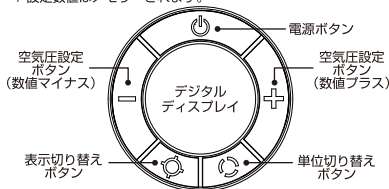
ご注意

- ※、ジャンプスタートを行う際、3秒以上セルスターターを回さないでください。
- ※、セルスターターを回してもエンジンがかからない場合、車載バッテリー等の不具合、または製品本体に不具合のある可能性があります。ありますので使用を中止してください。
- ※、ジャンプスタートは、1回以上行わないでください。本製品の故障の原因となります。
- ※、車載バッテリーを外し、製品本体を直接車のバッテリーケーブルに接続することは絶対におやめください。
- ※、本製品は車載バッテリーの充電はできません。

空気圧を設定する

1. 電源ボタンを押してデジタルディスプレイを表示し、バッテリー残量をご確認ください。
2. 表示切り替えボタンを押して空気圧表示に変更します。
3. 単位部分が点滅している間（約3秒）に、単位切り替えボタンを押して BAR / KPA どちらかの空気圧単位に合わせます。
4. 単位部分が点灯し、数値部分が点滅に変わった後にプリセット数値が表示されます。空気圧設定ボタンの + / - を押して充填する空気圧数値に設定します。
+ は数値が増加、- は数値が減少します。それぞれのボタンは長押しで数値の変更スピードが早くなります。
- ※ 設定数値の範囲は、0.1BAR~6.9BAR (0.1BAR刻み)、1KPA~690KPA (1KPA刻み) となります。
5. 設定完了後、表示切り替えボタンを押すとバッテリー残量表示となり、設定した空気圧単位 / 数値がメモリーされます。表示切り替えボタンを押さないままボタン操作が無かった場合、約 20 秒でバッテリー残量表示に戻ります。設定単位 / 設定数値はメモリーされます。

デジタルディスプレイの

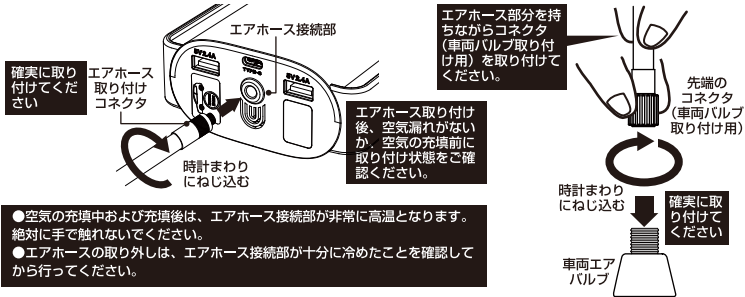


空気圧表示状態



空気を充填する

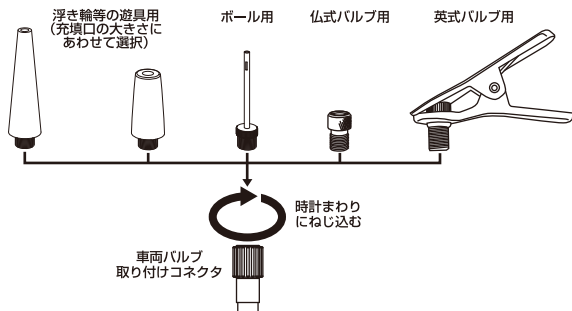
- 上記「空気圧を設定する」を行った後、以下の手順を行ってください。
- 1. エアホース接続部に、エアホース取り付けコネクタを時計回りにねじ込み確実に取り付けます。
- ※ エアホース取り付けコネクタの端をしっかりと締め込み、確実に製品本体と接続してください。正しく接続されていない場合、空気漏れの原因となり、充填が正しく行えない場合があります。
- 2. エアホース先端のコネクタを、エアホース部分を持ちながら車両タイヤのエアバルブへ時計回りにねじ込み確実に取り付けます。
- ※ エアホース部分を持ちながら取り付けた場合でも、製品本体のエアホース接続部が緩み、空気が漏れることがありますので、必ず空気漏れがないか確認してください。
- 3. 電源ボタンを押してデジタルディスプレイを表示後、表示切り替えボタンを押して空気圧表示状態にします。
- 4. 電源ボタンを押すとコンプレッサーが作動し空気を充填します。
- ※ 作動中は本体のスリット部分（吸気口）を塞がないでください。
- ※ 空気圧表示のまま電源ボタンを押さず、コンプレッサーを作動させない状態が約 20 秒続くとバッテリー残量表示に戻ります。再度表示切り替えボタンを押して空気圧表示状態にしてください。
- ※ コンプレッサー作動中は現在の空気圧が表示されます。
- ※ コンプレッサー作動中、または停止直前に空気圧表示数値が上下する場合がありますが故障ではありません。
- 5. 指定空気圧になると自動でコンプレッサーが停止します。(AUTO ストップ機能)
- ※ 指定空気圧になった後もしばらくコンプレッサーが作動し続ける場合がありますが故障ではありません。
- ※ 空気の充填中に電源ボタンを押すことで、指定空気圧になる前に充填を停止 / 再作動させることができます。
- 6. コンプレッサー停止後に車両エアバルブからエアホース取り付けコネクタを速やかに取り外します。
- ※ 空気の充填完了後は、必ず車両エアバルブからエアホース取り付けコネクタを先に外した後に、製品本体からエアホースを外してください。先に製品本体からエアホースを外すと車両タイヤから空気が排出されます。
- ※ 自動停止後、ボタン操作を行わない状態が約 1 分続くと電源が OFF になります。



バルブアダプターを使用する（車両以外の物に空気を充填する場合）

- 1、空気を充填する製品に合わせて、バルブアダプターを選択します。
- 2、1で選択したバルブアダプターへ車両バルブ取り付けコネクタを時計回りにねじ込み確実に取り付けます。
※仏式バルブアダプターを使用する場合は先にタイヤバルブ側へアダプターを取り付けてから、車両バルブ取り付けコネクタを取り付けてください。
- 3、「電動コンプレッサーとして使用する場合」に記載した手順で空気を充填します。
※用途にあった指定空気圧の設定を行ってください。
※空気の充填時は、充填している対象物から離れないでください。
※取り付け部を手で押さえないでください。

バルブアダプター（5種類）



ご注意

- エアホースを強く曲げた状態で空気の充填を行わないでください。
- 本体を充電しながらの電動コンプレッサーのご使用はできません。
- ホース先端のコネクタは、車両ホイールのバルブ位置により取り付けができない場合があります。
- ホイールキャップ取り付け車の場合、ホイールキャップの取り外しが必要な場合があります。予めご了承ください。
- 空気圧設定数値と充填直後の空気圧表記に誤差が出る場合があります。予めご了承ください。
- 適正値を超えた空気圧の設定は行わないでください。破裂・パンクや本体の故障・破損のおそれがあります。
- 本製品の空気圧表示は目安となります。
- 本製品にて空気を充填後は、必ず正確な空気圧をタイヤゲージ等でご確認ください。
- 走行直後はタイヤが熱くなった状態となり、充填された空気が膨張しているため正確な空気圧が測定できません。空気の充填はタイヤが冷えた状態で行ってください。
- 夏場の高温下や、冬場の低温下では指定空気圧と実際の充填空気圧に誤差が生じる場合があります。
- 5分以上連続で使用する場合は5分間の冷却時間を設けてください。製品本体の発熱・破損・故障の原因となります。
- 再度ご使用される場合、30分以上の時間を置き、本体が十分冷却されたことをご確認後にご使用ください。
- 長時間の空気充填を行なった際、エアホース接続部に内部潤滑油が付着する場合があります。
- 複数のタイヤへ連続して空気を充填する場合、各タイヤへ本製品を接続した際、必ず本製品の空気圧設定数値をご確認ください。
- 使用する環境により、同じ指定空気圧でも充填時間が異なる場合があります。
- タイヤサイズが大きい場合、空気の充填完了までに時間がかかる場合があります。
- 空気圧を最大値付近に設定した場合、最後まで空気が充填できない場合があります。
- 指定空気圧で自動停止しない場合、電源ボタンを押して空気の充填を停止してください。
- お子様の手の届かない場所での使用・保管を行ってください。
- 使用時の騒音に関しては法令や各地方自治体などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲にご迷惑がかけらぬようご注意ください。

故障かな？と思ったら

症状	原因	対策
本体の電源ボタンを押してもデジタルディスプレイが表示されない。	バッテリー残量が無い可能性があります。	製品本体の充電を行ってください。
製品本体が充電されない。	充電用ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。	本体充電用ケーブルのUSB-A 端子および USB-C 端子をご確認ください。
	USB 電源の出力が低すぎる可能性があります。	2A 以上の USB 電源をご確認ください。
	本体内部に不具合がある可能性があります。	ご使用を中止してください。
製品本体が膨張、またはすぐに発熱する。	内部リチウムイオンバッテリーに不具合がある可能性があります。	ご使用を中止してください。

製品仕様

ジャンプスターター

バッテリータイプ	リチウムイオンバッテリー	ジャンプスタート対象車の目安 (12V 車専用)	ガソリン車：5000cc 以下 ディーゼル車：3000cc 以下
バッテリー容量	8000mAh (3.7V)		
ジャンプスターター出力	240A ~ 900A	ジャンプスタートケーブルの長さ	プラス端子側：約 17cm マイナス端子側：約 12cm (保護回路ボックスからの長さ)

製品本体

定格入力電圧 / 電流	DC5V / 2A
定格 USB 出力	DC5V / 2.4A × 2ポート (2ポート同時使用は 2.4A まで)
本体充電時間	約 6 時間
使用環境温度	-10℃ ~ 40℃
本体寸法	245W × 45H × 100D mm
重量	780g

電動コンプレッサー

空気圧設定範囲	BAR → 0.1 ~ 6.9 (0.1BAR 刻み)
	KPA → 1 ~ 690 (1KPA 刻み)
エアホース長	約 40cm

保証とアフターサービス

- 保証書は、保証期間中の修理の際に必要になりますので、大切に保管ください。
- 必ず、お買い上げのレシートをご添付願います。レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。
- 保証期間はご購入から 6 ヶ月となります。
- 保証期間内に限り、以下の保証規定の記載に従って修理いたします。

保証書		保証期間：ご購入日より 6ヶ月	
品番	KD-269	品名	電動コンプレッサー付き ジャンプスターター 8000mAh
お客様	ご住所 〒		
	お名前		
	電話番号		
故障内容記入			
<h3>レシート貼付け欄</h3> <p>必ず、お買い上げ店舗のレシートをご添付願います。 レシートの提示がない場合は無償修理対象外となります。</p>			
製品に関するお問い合わせ先 050-3199-2558 (平日のみ 10:00~12:00/ 13:00~17:00)			
株式会社 カシムラ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬6-9-28 ホームセンター2 https://www.kasimura.com <small>©2024 株式会社カシムラ 電気用品工業会登録商標</small>			

- 保証規定
- 保証期間内に正常な使用状態(取扱説明書などの注意書に従った使用状態)で万が一故障した場合には、当社指定の方法で無償修理をさせていただきます。当社の判断により製品交換をさせていただきますことが有りますのであらかじめご了承ください。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、保証書とレシートを商品に添えて、お買い上げいただいた販売店までお持ちください。
- 保証期間内でも次の様な場合は有償修理となります。
 1. 保証書とレシート(必ず購入日が確認できるもの)をご提示いただけない場合
 2. 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 3. 使用上の誤り、他の機種から受けた障害または不平等な修理や改造による故障および損傷
 4. お買い上げ後の取付場所の移送、輸送、落下などによる故障および損傷
 5. 火災、地震、風水害、落雷、その他天変地変、公害、盗害、異常電圧などによる故障および損傷
 6. 一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障および損傷
 7. 消耗または摩耗した部品の交換
- お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けかねます。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の障害については当社はその責任を負わないものとします。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。